

## 2 世帯主の年齢階級別の状況

### (1) 年齢階級が高くなるほど多くなる貯蓄現在高

勤労者世帯について世帯主の年齢階級別に貯蓄現在高をみると、年齢階級が高くなるに従って貯蓄現在高も多くなっており、30歳未満の世帯が368万円となっているのに対し、60歳以上の世帯は2332万円と格差は6.3倍となっている。

負債現在高は40歳代まで年齢階級が高くなるに従って多くなるが、40歳代をピークに少なくなっている。

なお、30歳代では負債現在高が727万円と貯蓄現在高の719万円を上回っており、8万円の負債超過となっているが、他の年齢階級においては貯蓄超過となっている。

図8 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高（勤労者世帯）

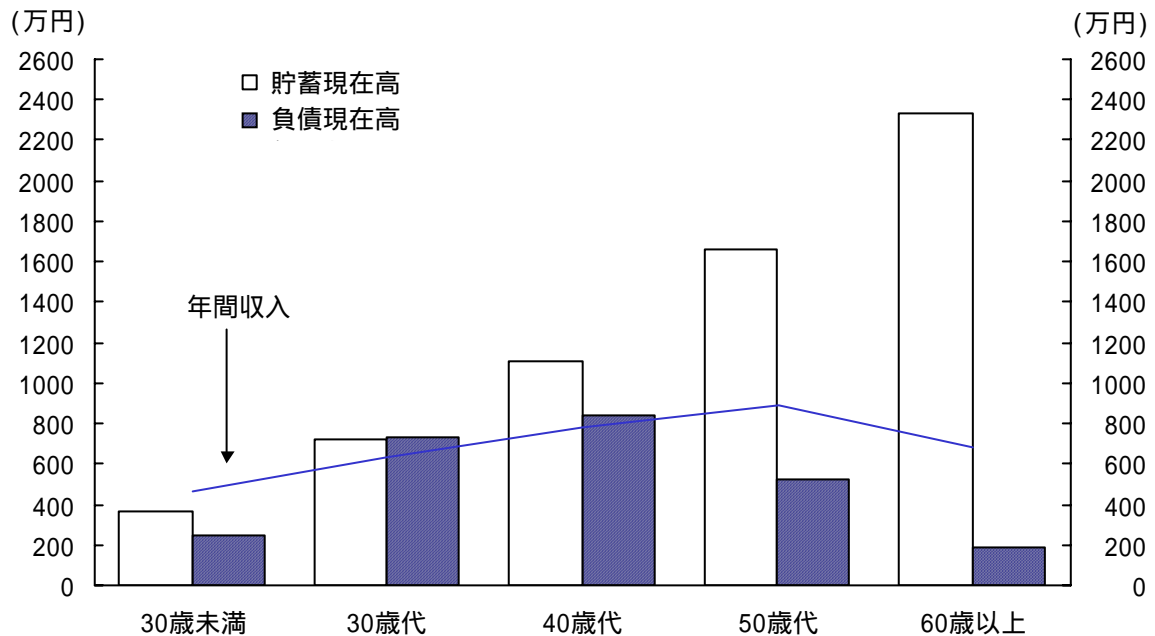


表8 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高（勤労者世帯）

項目	(万円)					
	平均	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
年間収入	748	465	629	780	893	680
貯蓄現在高	1280	368	719	1108	1659	2332
負債現在高	607	249	727	845	526	186
住宅・土地のための負債	562	222	690	789	472	164
貯蓄 - 負債	673	119	-8	263	1133	2146

(2) 負債保有世帯のうち40歳代以下の各年齢階級で負債超過

勤労者世帯のうち負債を保有している世帯について、世帯主の年齢階級別に負債現在高をみると、40歳代の世帯が1372万円と最も多くなっている。純貯蓄額（貯蓄現在高 - 負債現在高）をみると、40歳代以下の各年齢階級で負債超過となっており、30歳代の世帯が733万円と超過幅が最も大きくなっている。一方、50歳代以上の各年齢階級で貯蓄超過となっており、60歳以上の世帯では908万円と超過幅が最も大きくなっている。

図9 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高（負債保有勤労者世帯）

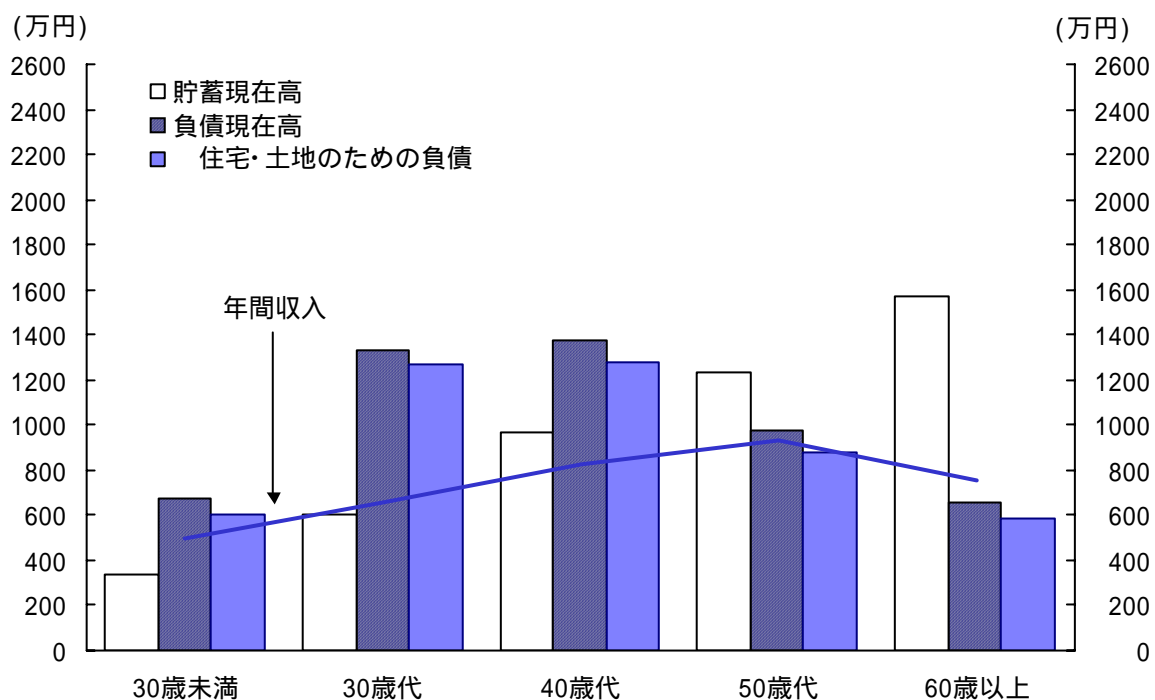


表9 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高（負債保有勤労者世帯）

項目	(万円)					
	平均	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
年間収入	799	494	659	823	936	754
貯蓄現在高	969	337	601	968	1230	1569
負債現在高	1164	676	1334	1372	977	661
住宅・土地のための負債	1077	602	1265	1281	877	584
貯蓄 - 負債	-195	-339	-733	-404	253	908

(3) 世帯主が60歳以上の世帯の平均貯蓄現在高は2412万円

世帯主が60歳以上の世帯の貯蓄現在高は2412万円となっている。これを世帯主の職業別にみると、勤労者世帯が2332万円、無職世帯が2302万円、個人営業世帯などの勤労者・無職以外の世帯が2726万円となっている。

一方、世帯主が60歳以上の世帯の負債現在高は253万円となっている。これを世帯主の職業別にみると、勤労者世帯が186万円、無職世帯が100万円、勤労者・無職以外の世帯が658万円となっており、世帯主が有業者である世帯で負債が多くなっている。

図10 世帯主が60歳以上の世帯の世帯主の職業別貯蓄・負債現在高（全世帯）

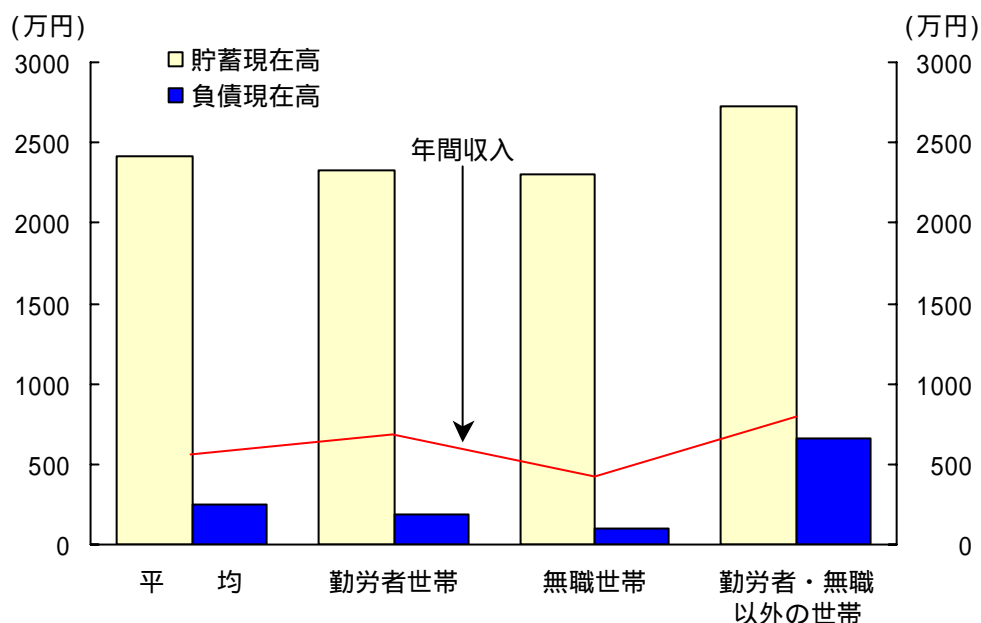


表10 世帯主が60歳以上の世帯の世帯主の職業別貯蓄・負債現在高（全世帯）

項目	平均	職業別		
		勤労者世帯	無職世帯	勤労者・無職以外の世帯
年間収入	564	680	428	797
貯蓄現在高	2412	2332	2302	2726
負債現在高	253	186	100	658
住宅・土地のための負債	195	164	86	471
貯蓄 - 負債	2159	2146	2202	2068

(4) 世帯主が60歳以上の世帯では貯蓄現在高の世帯間格差が大きい

世帯主が60歳以上の世帯について、貯蓄現在高階級別（標準級間隔200万円）の世帯分布を見ると、4000万円以上の貯蓄を保有する世帯が17.9%と全体の2割近くを占めている。一方、貯蓄現在高が600万円未満の世帯も19.8%と全体の約2割を占めており、貯蓄現在高の世帯間格差が大きくなっている。なお、貯蓄現在高が200万円未満の世帯が7.1%と最も多くなっている。

図11 世帯主が60歳以上の世帯の貯蓄現在高階級別世帯分布（全世界帯）

